

第6回豊明市高齢者福祉計画策定・推進委員会議事 要旨

- | | | | |
|---|----------------------------|----------------------|----------|
| 1 | 日時 | 平成26年10月28日(火)午後2時から | |
| 2 | 場所 | 豊明市役所 1階 第6会議室 | |
| 3 | 議題及び議事概要 | | |
| | (1)第6期介護保険事業計画に関する国の指針について | | 資料1 |
| | (2)豊明市の現状について | | 資料1、追加資料 |
| | (3)第6期介護保険事業計画 骨子(案)について | | 資料2 |
| | (4)今後のスケジュールについて | | |

以上、各担当より事業内容の報告及び質疑応答

質疑応答

(質問 委員)

国の指針「第6期計画のポイント」と市の計画の整合性は。

(回答 事務局)

国の方針に沿って3つの柱立てに集約した形で構成する。
今後、現状事業とのすり合わせのもと具体的な事業施策の位置付けを検討する。

(意見 委員)

介護に至る原因分析をもとに、予防の視点も盛り込むように。

(回答 事務局)

原因は「脳血管疾患」「がん」「認知症」が多い。とよあけ健康基本計画21の推進とともに予防にも取り組む。

(質問・意見 委員)

- ① 豊明団地対策(独居、保証人がいなくても入居できる状況)
- ② 認知症対策
- ③ 地域リーダーの育成(元気シニア活躍には、研修や教育も必要)

(回答 事務局)

- ① 藤田保健衛生大学病院、UR都市再生機構、市民、行政等による勉強会において、検討を進めている。
- ② 地域における普及啓発、認知症高齢者家族など支援者の負担軽減、福祉サービスの充実等取組み課題多数あり。
- ③ 年齢にとらわれず、元気な人が活躍できる仕組みづくりを考えていく。

(質問 委員)

介護人材の確保、育成も必要だがその取組みは。

(回答 事務局)

若い世代からの啓発も含め、できるところから取り組んでいきたい。

(意見 委員)

- ・ 介護者や、元気高齢者へのインセンティブも必要では。
- ・ ボランティアポイント制度の活用なども検討してみてもは。

(回答 事務局)

ボランティアポイントの取組みは今年度3年目となり、商品券でのポイント還元を実施。リーダーの育成・確保／インセンティブにつながる仕組みを整えつつ、それらをどうマッチングさせていくかが大きな課題となる。

(意見 委員)

- ① シニア世代が元気なうちから、具体的で多様なメニューの提示が必要。これが元気な状態の維持となり、またインセンティブにもつながる。
- ② 豊明市は、相談先として包括支援センターが充分機能し、ICT による連携も進んでいる。その取組みについてPR強化が重要。
- ③ 要介護3の介護者の回答より、約半数が在宅生活継続での介護を希望している。この方たちへの支援充実が優先課題である。

(委員 意見)

施設には、在宅生活が困難となった状態で入所されることが多く、一旦入所されると在宅生活に戻ることは難しい。

小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護等、在宅生活を支えるサービスの充実が望まれる。

以 上

4 出席委員 12名

欠席委員 2名

5 傍聴者 2名

※次回 平成26年12月17日(水) 午後2時～ 場所:豊明市役所1階 会議室6にて

問い合わせ先 高齢者福祉課 地域ケア推進係 電話 0562-92-1261